

# 2019

## 合同教育研究全道集会

子育てのこと、学校のこと、みんなで話し合いませんか。  
「全道合研」は子育てや教育にかかわる人々による、誰でも参加できる  
教育研究集会です。

### 11/9<sup>土</sup>～10<sup>日</sup>

■会場 学校法人 札幌学院大学（江別市）

テーマ討論【9日 12:30～14:30】

- ①迷走する大学入試改革  
～高校・大学を通して身につけたい学力とは～
- ②らしさ、って何？  
～ブラック校則から学校と社会を考える～
- ③学校と地域がつながり、子どもたちの成長を支える
- ④20代30代の教職員が今と未来をちょっぴり語る
- ⑤アイヌの先住権と「アイヌ施策推進法」  
～世界の先住権の常識から考える～

分科会【9日 14:45～18:30 / 10日 9:30～15:00】

平和を守り真実をつらぬく

民主教育の確立をめざして

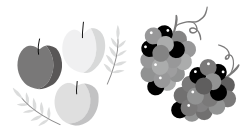


■主催：2019合同教育研究全道集会実行委員会  
■連絡先・事務局（北海道高等学校教職員センター内）  
〒060-0042 札幌市中央区大通西12丁目  
TEL / 011-231-0816 FAX / 011-241-8510 HP / [www.goken-hokkaido.jp](http://www.goken-hokkaido.jp)

## ●分科会のご案内

分科会名横の（ ）内の数字は、各自で印刷・持参いただくレポート部数です。

<p><b>1 国語教育 (30)</b></p> <p>ことばを「情報」として操作するだけ。文学作品も読まない、作文も書かないー最近の流行のこんな授業は国語教育ではないーと怒っているみなさん！本当の意味で生きる糧となる国語教育を、参加者みんなで作ってあげてみませんか？（レポートには教材の原文添付を）</p>	<p><b>7 書教育 (20)</b></p> <p>小学生の毛筆指導から高校生の作品展示まで、幅広い参加者ニーズに応える分科会を目指しています。</p>
<p><b>2 外国語教育 (30)</b></p> <p>「グローバル人材」「コミュニケーション能力」「小学校での教科化」「大学入試改革」。現場を揺るがしているこうした教育政策のキーワードをもとに、真の外国語教育の目的を確かめながら、子どもの明るい未来につながる授業づくりを語り合しましょう。</p>	<p><b>8 音楽教育 (20)</b></p> <p>音楽は、人が豊かに生きていくために欠かすことのできない文化です。音楽の授業は、子どもと教師が教材を真ん中にして文化を育む場です。ささやかでも、普段着の実践を持ち寄り、語り、歌い、学び合しましょう。授業等で録音・録画した物を持ち寄ります。</p>
<p><b>3 社会科教育 (40)</b></p> <p>人類の歴史的・地理的歩みを理解し、民主主義・平和・人権保障の実現を目指す社会の在り様を知り・考えるためには、いかなる授業実践が必要なのか。その内容・方法について、参加者一同で協同し、開発・継承・発展の場にしましょう。</p>	<p><b>9 技術・職業教育 (30)</b></p> <p>技術・職業教育では、近年、各教科の専門性を活かし、地域と連携した多くの実践や、進路指導、労働問題に関する実践を積み上げてきました。身近な問題などを中心に数多くの実践を持ち帰り、学び合しましょう。</p>
<p><b>4 数学教育 (30)</b></p> <p>「数学は本当におもしろいんだなという気持ちになる授業をするにはどうしたらよいか」について自由な雰囲気での話し合い、ちょっとした工夫を持ち寄って、見晴らしのよい数学と数学教育の世界を味わいましょう。</p>	<p><b>10 家庭科教育 (20)</b></p> <p>生命と生活の再生産にかかわる学習を担う家庭科は、子どもが直面する生活の困難にどのように迫り、何を提起していくべきなのでしょう。現在と将来にわたる生活の主人公を育てるため、大いに意見交換しましょう。</p>
<p><b>5 理科教育 (30)</b></p> <p>北海道の子どもが自然科学を豊かに学ぶことができるよう、授業づくり、実験教材やものづくり教材の開発、地域の自然の教材化について語り合しましょう。子どもがいきいきと活動して学ぶことができる授業をつくりましょう。</p>	<p><b>11 保健・体育教育 (保健30・体育30)</b></p> <p>子どもの健康・発達を語り合い、いかに子どもの命や体を守り育てていくのか交流しましょう。また、食・健康・運動文化の主人公に相応しい力をすべての子どもに保障する教育を考えましょう。学校保健の実践的課題や現状を、意見交換しましょう。</p>
<p><b>6 美術教育 (20)</b></p> <p>美術教育は豊かな人間性を育むと共に、多様な価値観や、創造性を他者と共有し相互に認め合える教科です。学力のあり方が変わろうとしている中、授業や特別活動を通じ、子どもたちとの関わりについて語り合います。</p>	<p><b>12 総合学習・生活科 (30)</b></p> <p>「何を学ぶか」「なぜ学ばせるか」という視点からの授業づくりが、総合学習・生活科の実践を豊かにしていく報告が近年増えています。「深い学び」を実現する生活・総合実践について語り合しましょう。</p>



<b>13 道徳教育 (30)</b> <p>小学校では「道徳科」が教科書を使用する全面実施になり、授業実践や評価での困難さが浮き彫りになっています。子どもたちの発達・人格形成にとって、道徳的な問題を考えたり実践することには積極的な意味があります。レポートを皮切りに、みなさんで交流・論議を行いましょう。</p>	<b>19 国民のための大学づくり (30)</b> <p>政府は「高大接続改革」「高等教育無償化」により、高校教育、大学入試、そして大学のあり方を劇的に変えようとしています。統制・競争・分断の政策を乗り越え、自由な学問と青年期の発達保障のあるべき姿を探ります。</p>
<b>14 学校と家庭の生活指導 (30)</b> <p>子どもたちの声を聞き、子どもたちを大切にしている学級づくり、授業づくりなどの実践を交流します。学校を息苦しくさせるゼロトレランス、学校スタンダードなどの一斉指導、拡がる格差と貧困。いま、必要な生活指導、子ども支援は何かを討論します。</p>	<b>20 障害児・障害者の教育と福祉 (100)</b> <p>1日目は「改訂学習指導要領のもとで、いま学校は（仮）」というテーマでミニシンポジウムを行い、2日目は小中学校、特別支援学校、青年期の課題などテーマごとの分散会でレポート討議を行います。</p>
<b>15 教育条件確立の運動 (30)</b> <p>ゆきとどいた教育の実現には、「人・物・予算」の裏付け、すなわち教育条件整備が不可欠です。教育予算や教育費負担、学校統廃合、教職員定数増と労働条件改善など、切実な課題について学び、語り合ひましょう。</p>	<b>21 環境・公害と教育 (30)</b> <p>当分科会は、公害・環境問題、自然保護教育のあるべき姿を探ってきました。近年、気候変動に伴う災害の激化や地震など問題は多岐にわたり、それぞれ深刻さを深めています。さらに原発事故、放射性廃棄物問題などを含むエネルギー問題についても語り合ひましょう。</p>
<b>16 教育課程・学校づくり (30)</b> <p>子どもを中心とした教育課程を、教職員・子ども・保護者・地域が力をあわせてつくっていくために、お互いの実践や思いを交流しましょう。また、様々な課題をかかえる子ども達の実態や教育課程についても、じっくり語り合ひましょう。</p>	<b>22 平和・憲法、人権・民族と教育 (憲法20・民族20)</b> <p>参議院選も終了し、さらに安倍自民党政権が長期化しています。予断を許さない「憲法改正議論」。これに対する実践と理論を学びあいましょう。先住権なき「アイヌ施策推進法」(2019年5月成立)を乗り越える運動、教育実践のあり方について、学習と討論を深めます。</p>
<b>17 地域における子育て・学習運動 (30)</b> <p>現代は多様な家族が増え、子どもの生活に大きな変化が見られます。子どもが生き生きと育つ環境づくりが地域共同活動に求められています。PTA活動、子どもの貧困、若者の地域参加など地域からの実践報告に学び交流します。 ※18分科会と一部共同開催(詳細は当日お知らせします。)</p>	<b>23 子ども・青年の発達と教育 (30)</b> <p>子どもや青年の「発達援助」に携わる大人として、何ができるかを共に考え語り合う分科会です。保育、小・中学校、高等学校、フリースクールなど、乳幼児期から青年期までの長いスパンで「人の発達」を見通し、子ども理解をより豊かなものにしていきましょう。</p>
<b>18 地域と学校の文化・スポーツ活動 (30)</b> <p>子どもたちを人間的に成長させる上で、文化・スポーツ活動は大きな役割を担っています。しかしながら、そこには様々な課題や困難な状況があることも事実です。奮闘されている方々の実践をもとに、その解決に向けて、みんなで話し合ひましょう。 ※17分科会と一部共同開催(詳細は当日お知らせします。)</p>	<b>24 不登校・登校拒否・高校中退 (30)</b> <p>不登校の子どもやひきこもりの青年に安心して成長できる居場所が求められます。親の困難な生活実態や「教育機会確保法」の検討を深め、学校現場のとりくみ、親の会、支援団体の努力を語り合ひましょう。</p>

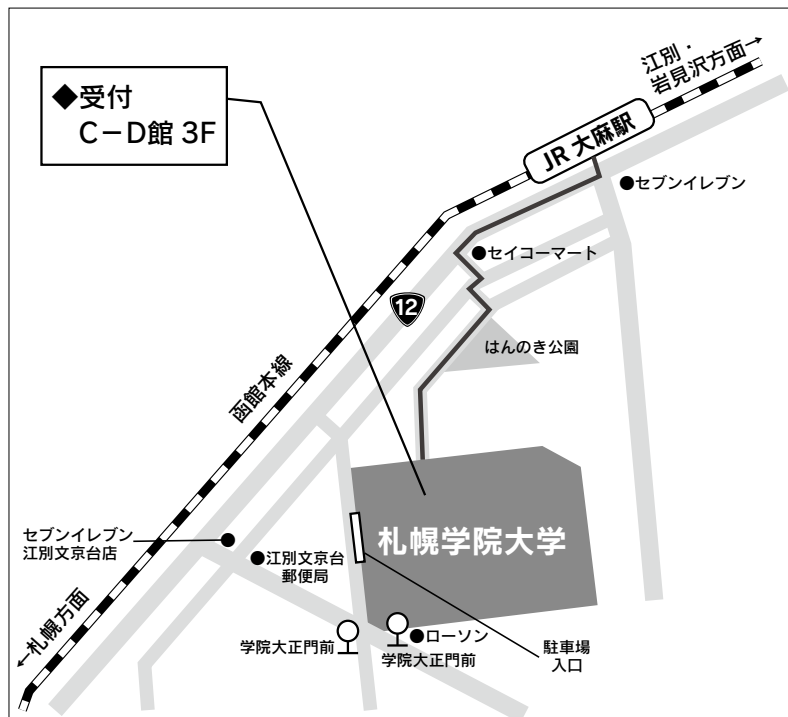
## ◆ ご案内 ◆

# 子どもを中心にした 教育・学校を！



- 保育所を用意しています。申し込みは事務局へお願いします
- 障がいのある方の参加は、会場準備の関係上あらかじめ事務局へご連絡ください
- 昼食は各自ご用意ください（学食の利用はできません）
- 駐車場は利用できますが、台数に限りがあります。できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

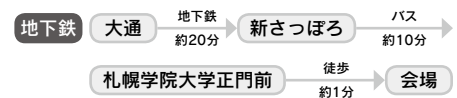
## ● 会場案内 札幌学院大学（江別市文京台11）



### ■ 札幌駅からのアクセス



### ■ 大通駅からのアクセス



### ■ 新札幌駅からのおすすめバス

- ① JR 北海道バス／循環新83・新札幌駅行。  
札幌学院大正門前 下車
- ② 夕鉄バス／札幌線  
(新さっぽろ駅前一文教通西)・文教通西行。  
札幌学院大正門前 下車

## ● レポート参加される方へ

1. 日々の実践や子どもの様子など簡単なものでかまいません。A4の用紙一枚程度から発表できます。
2. レポート参加する場合、各合研加盟団体を通じて合研事務局へ連絡してください。(10/18まで)  
加盟団体以外のレポート参加は、合研 HP に掲載の「エントリーシート」で報告してください。
3. レポートの作成方法・注意事項
  - ・ レポートは A4版で表紙には「テーマ」「分科会」「所属・氏名」を明記してください。
  - ・ レポートは各自が印刷しご持参ください。 (部数はリーフの分科会名横の「レポート部数」参照)
  - ・ プライバシー侵害の恐れがありますので、実名記載は避け個人が特定されないようご配慮ください。
  - ・ 教研集会の主旨を踏まえ、報告・討論の際には生徒や参加者の人権に十分配慮してください。
  - ・ レポートの「非公開」を希望する場合、表紙に朱書きで「非公開」と明記してください。
  - ・ レポート発表に使用する機材は、必要最小限でお願いします。プロジェクターは用意しますが、パソコン等の用意はありません。
4. その他詳細については、合研 HP [www.goken-hokkaido.jp](http://www.goken-hokkaido.jp) をご覧ください。



合研HP